

平成 25 年度第 4 回一宮市子ども読書活動推進懇話会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成 26 年 2 月 6 日（木）午後 2 時～午後 3 時 30 分
- 2 開催場所 中央図書館 7 階 講座室
- 3 出席者 委 員 9 名（1 名欠席）
事務局 7 名
- 4 議題
 - (1) 「子ども読書のまち宣言」の報告と今後について
 - (2) その他
- 5 開会 （事務局が開会を宣言）
図書館長挨拶
懇話会長挨拶
議事進行については一宮市子ども読書活動推進懇話会設置要綱第 5 条第 2 項に基づき会長が務めた。
- 6 会議録（要旨）
 - （会長） 議題(1)について審議願います。
 - （事務局）「子ども読書のまち宣言」の経過、記念式典、啓発活動について説明。
 - （委員） ブックスタートで「子ども読書のまち宣言」を説明したほうがいいのでしょうか。おそらく全員の主任児童委員が聞いていないので、お知らせいただきたいと思います。
 - （事務局）ブックスタートで「子ども読書のまち宣言」のちらしとシールを配布しますが、保護者にお話していただくのは重要なことです。ブックスタートでは職員が同行しますので、始める前に職員から子ども読書のまち宣言を紹介するよう説明させていただきます。
 - （委員） 5 階フロアに掲示してある「子ども読書のまち宣言」のサインプレートで、宣言にルビがふってありませんが、ルビをふることは難しかったということでしょうか。小学生に本を貸し出すときに、宣言の本文だけをカラフルなちらしにして周知するという考えをお持ちでしょうか。
 - （事務局）5 階フロアのサインプレートの宣言にルビをふることを気がつきませんでした。ルビをふったちらしを用意するなどして補足したいと思います。貸し出しのときに子どもにちらしを渡すことについては今後検討させていただきます。
 - （委員） サインプレートだけでは、市内の小中学生が力をあわせて宣言文を作り上げたことが伝わらないと思います。小中学生の力でできあがったことをどこかでわかる形にしていただけると子どもたちもより親しみを持てますし、市民の方にも子どもたちの力でできたことが周知できると思います。宣言のちらしは前文も本文もルビがあると子どもたちが読みやすいのかなと思

います。

(事務局) 宣言のちらしはルビをふると少しレイアウトが変わるかもしれませんが説明をくわえた形で検討します。

(事務局) 5階のサインプレートのとに宣言ができた経緯を掲示する準備をすすめていました。おはなしのへやは、小さい子どもが来るところでお母さん方に読んでいただけたと思いますが、児童調べ学習室に掲示するものは、子どもが読みやすい工夫をしたいと考えています。

(委員) 具体的にどんな形で宣言の唱和の機会を持たれるのか。学校の先生におまかせなのでしょう。

(事務局) 学校教育課と協議しまして、全校集会で唱和をお願いするところです。

(委員) 唱和は強制されるものではありませんが、啓発するときは何回も機会を持つことが大事ですのでお願いします。

(会長) フレームパネルの下の方に、『※宣言文は、「い」「ち」「の」「み」「や」の頭文字がついており、原案は小中学生が考えました。』と一行入れると、何年たっても子どもたちが作ったことがわかり親しみがわくのではないかと思います。

(委員) 子どもと本をつなぐような啓発ポスターを夏休みの宿題などで描いてもらい、宣言との結びつきを強めたらどうですか。

(事務局) ポスターについては学校図書館の先生と相談させていただきましたが、学校へは多くのポスター依頼があり、時期の問題などがありますので検討させていただければと思います。

(委員) 宣言を広く周知するという事で、唱和用の宣言ちらしを配布していただいて全校集会などで唱和することになると思います。ただ、一回限りではなく学校で年2、3回ある読書まつりや読書週間で、子どもたちが実際に声を出して唱和する設定を校長会などではたらきかけていきたいと思っています。

(委員) 学校ボランティアと図書館ボランティアの連携がもっとあると発展できると思います。今は接点が少ないので接点を作っていただけるとありがたいです。

(事務局) 学校と図書館との連携がこれまであまりなくて、お互いに活動されているボランティアの情報がなかったのですが、これからは子ども読書活動を推進していくために学校と図書館との話し合いをすすめたいと思います。

(委員) 学校ボランティアグループに宣言についてのお知らせをする機会や方法はあるのでしょうか。図書館ボランティアは、近日総会があるのでお知らせできます。

(事務局) 学校ボランティアグループとの連携はこれから順次推進しなければならないと思っています。学校図書館の先生方と相談させていただきましたが、地域ごとにまとまりがあるようですが、図書館のボランティアとして組織さ

れていないようですし、まとまりに参加していない学校もあるようです。そのため、どのように図っていかうかと考慮しているところです。

(委員) 宣言文は幼稚園児には不似合いの言葉で、このままでは意味を咀嚼できないと思います。宣言文を全部ひらがなにしても理解できないので、将来の課題として幼児向けの平易な言葉で言い表したものを考案したらどうですか。しおりはすばらしいものができて使い勝手もいいので、来年も違う絵柄やデザインで作ってみてはどうですか。

(事務局) 今回、フレームパネルは保育園や幼稚園にも配布させていただきますが、園児が宣言文を読んで理解できるものではないので、先生方に指導していただいて子どもたちに読書がしやすい環境づくりをすすめていただけたと思っています。

(委員) 私の孫も宣言文を考えました。一言でいいのでフレームパネルの下のほうにシールで貼ったらどうかと思います。保育園の年中さんは字を読めるので、宣言文の本文だけでも大きくしたら子どもは読もうとします。

(委員) 今、ゆるキャラが流行っているので、よむりんの着ぐるみをつくってみてはどうでしょうか。

(委員) 子どもたちはシールを集めるのが好きなので、またシールを作ってみてはどうでしょうか。

(事務局) シールを作るのにも経費がかかりますので、すぐ作ることはできませんが、今後の検討課題とさせていただきます。

(委員) 啓発について、保護者へのアプローチが少ないと思います。入学式の説明会ではたくさん書類をもらうので、啓発のちらしは他のものにまぎれて読まれにくい。ブックスタートのときも熱くプッシュしないといけないのかなと思います。先日の記念式典ではＩＣＣの人がいましたが、新聞社の取材はあったのでしょうか。

(事務局) 新聞社に案内はしましたが、取材はありませんでした。

(委員) 積極的にメディアを利用したらより広く知らせることができると思います。ハード面は充実し、ボランティアも一生懸命活動されているので、これから図書館に行ったことがない人とか普段本を読まない人たちへの働きかけを考えたほうがいいと思います。

しおりやシールではなく、キーホルダーをつくってみてはどうですか。例えば、本を３００冊借りたらキーホルダーがもらえとしたり励みになると思います。

私の友達で中央図書館に行ってみたいと思っている人がいますが、どこに車を停めればいいのか分からない人もたくさんいます。車は１時間無料になるとか、階段で行けるなどの周知があるといいかなと思います。

(委員) 案内板をたくさん作ってもらってかなり分かりやすくなりましたが、まだで

きることはあると思います。

(会長) 啓発活動について、図書館側から相手に渡しているだけであって、ポスターでも感想文でも何でもいいですが子どもたちから図書館側に投げかける活動ができればいいなと思いました。

(事務局) 去年3月の子ども読書サミットのように子どもたちが図書館について話し合う機会を学校教育課と協議して行きたいと思います。

(会長) 子ども読書活動を通じて図書館利用が増えるように今後も大いに検討していただければありがたいと思います。

(委員) 子ども読書に力を入れている図書館があったら見学したい。今まで見学費用はどうしていましたか。

(委員) ボランティア連絡会で今まで4回図書館見学をしましたが、参加者が実費を負担しました。市のバスを使って行ったので、バスの費用は無料ですが、高速道路の費用や資料館の入場料などを負担しました。

(会長) 議題(2)その他について説明をお願いします。

(事務局) 記念式典での工藤直子さんの講演内容を配布しましたのでご一読お願いします。

(委員) 先日の記念式典で、教育長さんが宣言文の最後の「やさしさと思いやりのある子ども読書のまちをつくる」ことを強調されていましたが、同感です。思いやりのある人をつくるのが結論だと思うので、よくまとまった宣言文だと感心しています。

(委員) 作家を講師とした場合、その作家の本を読んでもみようかと思ったり、違う見方で本を読むことができます。講演会をするとき、講師を作家で決めると読書の向上につながると思います。一宮市を文化都市として市民の知的レベルを上げるようなことをしていくといいのではないかと思います。

(委員) 工藤直子さんを記念式典の講師に選んでいただいて、すごく良かったと思います。

(委員) 子どもたちに聞かせてあげたい講演内容でした。生の声を聴くことはいいと思うので、子どもたち向けに講演をやっていただけたらありがたいです。

(委員) 教科書でしか知らない人が目の前で楽しいおはなしをしてくれたら、教科書を見る目が変わると思います。

(事務局) 子ども向けの講演会を検討し、子どもたちにアプローチしていきたいと思っています。

(会長) 長時間にわたりご審議いただきありがとうございます。以上をもちまして第4回懇話会を終了します。